

日米英の経済再開状況とマーケットの反応

ポイント① 日米英の経済再開状況

英国では国民の50%以上がワクチン接種を完了していることを受け、7月19日に人口の大部分を占めるイングランド地方で新型コロナウイルスに関するほぼ全ての規制が解除されました。ソーシャルディスタンスとマスク着用義務の廃止、ナイトクラブや飲食店の営業も再開しました。政府は新型コロナウイルスと「共生」する姿勢を示しています。米国でも英国同様にワクチン接種率が50%程度に達しており、サービス業を中心に経済再開の動きが加速しています。一方、わが国では、ワクチン接種率が欧米に比べて遅れていることもあり、東京都では4度目となる緊急事態宣言が発出され、東京オリンピックも大半が無観客開催となるなど、再び規制が強化されています。

ポイント② 新型コロナウイルスの感染状況

新型コロナウイルスの新規感染状況を見ると、英国では6月から再び急増しており、1日あたりの新規感染者数が今年1月のピークに迫る勢いです。米国ではワクチン接種状況に地域差があり、接種が進んでいない中西部や南部の州で変異株中心に感染が再拡大しているようです。そして、わが国でも6月後半から新規感染者数が増加しています。なお、日米英ともに、感染者数は増えているものの、死者数は以前のように増えておらず、ワクチン普及の効果が出ているようです。

ポイント③ 足元で調整するマーケットの行方

規制解除と感染再拡大の狭間で足元の株式市場には幾分かの動揺が見られており、先週末、各市場共に調整局面にあります。しかし、ワクチン効果で死者数が以前のように増えなければ、一定の安心感も出てくることで、英国が目指す「共生」に向かいながら、マーケットも落ち着きを取り戻していくでしょう。

図1：日米英のワクチン接種完了率

期間：2021年1月11日～2021年7月18日、日次

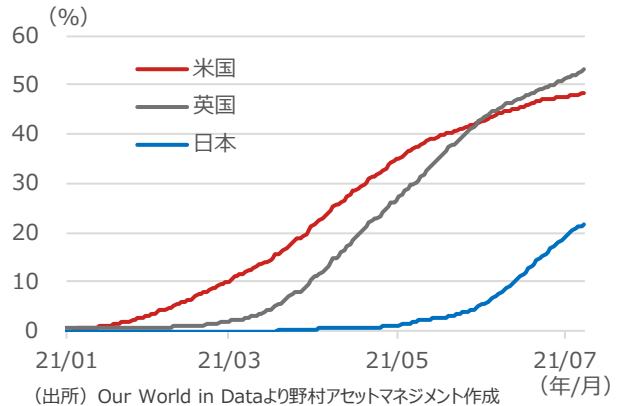


図2：日米英の新型コロナウイルス新規感染者数

期間：2020年1月22日～2021年7月18日、日次

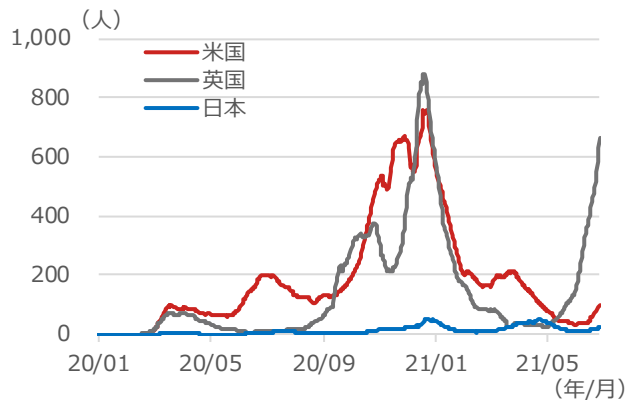


図3：日米英の株式市場の推移

期間：2020年12月30日～2021年7月19日、日次



当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。